

東北楽天 ゴールドエンイーグルス入団!

香南市初のプロ野球選手誕生!

夢への第一歩

昨年10月23日に行われた、プロ野球ドラフト会議において、東北楽天ゴールドエンイーグルスより5位指名を受けた入野貴大選手(26)。四国アイランドリーグで活躍していた彼は、野市町出身で香南市から初めてプロ野球選手が誕生しました!夢中になって白球を追っていた少年は、強い気持ちと努力によって大きな夢を叶え、新たな一歩を踏み出しました。

担当: 広報編集委員 久保きみ



夢への一歩は
ここから始まった



平成11年(佐古小5年生)
桜ヶ丘スポーツ少年団ではつらつプレー



平成15年(野市中3年生)
県選手権で初の4強入りを果たした

入野貴大選手

3人兄弟の真ん中で、小さい頃から足が早く運動神経抜群だった入野選手は、佐古小学校4年生の時に地元の少年野球チーム「桜ヶ丘スポーツ少年団」に入団し、野球人生が始まりました。始めてすぐにその楽しさから「プロ野球選手になりたい!」と思うように、「憧れの選手はイチローで、メッチャ真似しました!」と満面の笑みで当時を振り返ってくれました。その後、野市中学校に進み、日々仲間たちと心、身体、技術を鍛えセカンドで5番バッターとして活躍。3年生の夏の県選手権では同校野球部が始まって以来初のベスト4入りを果たしました。

憧れのピッチャーに

県立岡豊高校に進学すると練習内容もさらにハードなものに。ピッチャーへの憧れもあり「やってみたいけど、ショートがおらんなるし…」と遠慮がちだったと。しかし、その身体能力の高さを認めた監督からピッチャーを任されたのは3年生の4月。甲子園をかけた最後の戦いまでわずか3カ月ほど前の事でした。結果は2回戦敗退となり、高校野球に幕。けれど「この時にピッチャーを任されているのなら、今の自分はなかつたかもしれません」と恩師に感謝していました。

アイランドリーガーの道へ

チカチカと火が着いた野球魂は、当然そう簡単には消えません。プロ育成野球専門学院(広島)に入学し、プロ野球選手になる夢を追い続けようとしていた矢先、その学院は1年で消滅してしまいました。もちろんそんな不運に屈することなく、次に挑戦したのは四国アイランドリーグ。入団テストを受け愛媛マンダリンパイレーツに入団したのは平成20年。ここから荒波に揉まれる事になり

「本当にキツかったし、がむしやらでした」と愛媛での5年間を思い出していました。結果を出すための努力、課題を克服するための甲斐あって段々と「ドラフト候補」に名前が上がるようになっていきました。しかし「候補」の域を脱する事はなく迎えた6年目、徳島インディゴソックスへ移籍したことが転機となり、中継投手としてチームのリーグ優勝に貢献しました。「最後の年」と覚悟して臨んだ昨年は、先発に転向。16勝3敗2セーブと活躍し、徳島は独立リーグ日本一に。入野選手はMVPを獲得し、一気に注目されるようになった。

感謝の気持ちをもって進みます!

迎えた運命の日、自分の名前が呼ばれると頭の中が真っ白に。「自分がここまで来られたのは、支えてくれた恩師や家族のおかげ。特に自分の好きな事をやらせてくれ、見守ってくれた両親には感謝の気持ちで一杯です。これからしっかりと恩返ししたいと思います。僕は香南市からの第1号となったのでお手本となるよう、努力し続けたい。実戦経験を積んできた事が僕の強みなので、まずは1軍で投げる、そして1軍での中心メンバーになる事が目標です。今、野球に限らず色々な事に挑戦している子ども達にも、夢に向かって決して諦めず努力すればきっと叶うと伝えたいですね」父親から贈られた「努力は才能を上回り、気力は実力を超える」という言葉を胸に、香南の星は東北で輝きを増すことになりそう。

《広報へのメール》

kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp